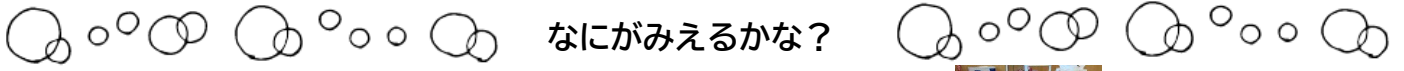


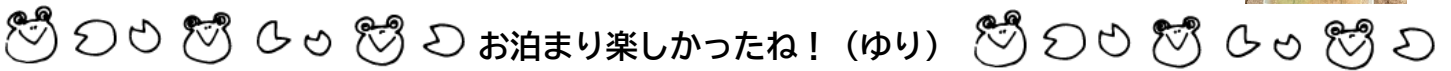


# 7月 どうぶつグループだより

2024. 7. 1

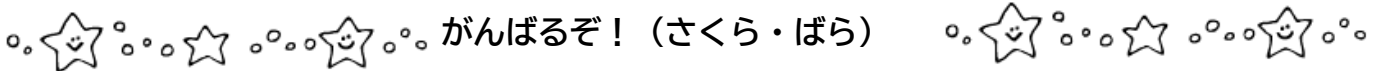


子どもたちと一緒に「手は、あたま」で頭をなでたり、「手は、ほっぺ」でほっぺたをぐるぐる回してみたり、とあそんでいます。「手は、おめめ」のときに手を双眼鏡のように作って、「なにがみえるかな〜?」「あ!〇〇ちゃんが見えた!」と楽しんでいました。両目で見たり、片目だけのぞいてみたり、と様々な双眼鏡がありました。そこで、今、子どもたちと一緒に双眼鏡を作っています。さくらさんは、折り紙をちぎって貼って、ちぎり絵。ばらさんは、画用紙にクレパスで描いたあと絵具を塗って、はじき絵。ゆりさんは、マーブリング。なにがあるかな〜?なにがみえるかな〜?と子どもたちと一緒に楽しいもの、面白いものを見つけて行こうと思います。



6/10.11は、八瀬のお泊まり保育がありました。まだかな、はやくいきたいな、とずっと楽しみにしていた子どもたち。お泊まりに向けて少しずつ準備を進めていくと、楽しみと一緒に緊張する姿がありました。しかし、当日の朝になると、楽しみに変わり、元気よく「行ってきます!」と皆に声をかけて出発しました。八瀬に着くと、さるの見張り台まで登ったり、魔女さんの家に行ったりしました。魔女さんの家に行くと、魔女さんからのお手紙と魔法の金平糖がありました。お相手さんにプレゼントを作るときは、「これが好きだと思うな」「こうしようかな」とお相手さんのことを考えて作りました。そのあとは楽しみの1つだったお風呂!お友だちと一緒にお風呂に入って、カレーを食べました。夜は、みんなが作ったキャンドル台が綺麗に灯る中、キャンドルサービスを守りました。キャンドルサービスでは、みんなで話し合ったうたと踊りを発表しました。元気よく大きな声で歌って、踊りました。たくさん体を動かしてあそんだ子どもたちは、お布団に入ると、すぐに夢の中へ…。たくさん寝た子どもたちは、元気いっぱい!朝の礼拝をし、体操をしてテラスで朝ごはんを食べてから、朝に魔女さんからもらった「魔法がかかったなわとび」でなわとびを跳びました。跳んでみると、あらふしぎ!いつもよりもたくさん跳べたゆりさんです!心配していた天候も、みんなの願いが届き、無事雨も降ることなく、八瀬の山を楽しむことができました。またひとつ、ゆりさんにとって素敵な思い出ができましたね。

お泊まりの経験は、子どもたちにとって1つの自信に繋がってくれていたらと思います。お友だちがいるから頑張れる、困ったときは助け合える、その気持ちを持って、さまざまなことに挑戦して、乗り越えていこうと思います。



ゆりさんがお泊まり保育に行くとき、ゆりさんから「おとまりのあいだ、よろしくね」「がんばってね」と願いをされたばらさん。「うん!がんばる!」と答えてくれました。当日、ゆりさんがお泊まり保育に行くと、「ゆりさんがいない」「さみしいな」と寂しがる姿もありましたが、今この園で1番大きいお兄さん、お姉さんなんだとベツト運びや、さくらさんのお手伝いを頑張ってくれました。さくらさんも、いつもお手伝いしてくれる大好きなゆりさんがいなくて、「あれ、いない」「さみしいな」とぼつりつつぶやく姿が…。いつもと違う環境の中でも、自分で出来ることは自分で!と頑張ろうとする姿がありました。お相手のゆりさんが帰ってきたら、「頑張ったら、ぎゅーしてもらおう!」とさくらさん、ばらさん。帰ってくると、駆け寄ってぎゅー!としてもらい、にこにこでした。ゆりさんのお泊まりをきっかけに、また1つ大きくなったことを感じましたよ。

